



2018年9月14日

各位

社会的責任投資指数 「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」 の構成銘柄に4回目の選定

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：小坂 達朗）は、社会的責任投資（Social Responsibility Investment、以下、SRI）の代表的指数「Dow Jones Sustainability Indices」（以下、DJSI）のアジア・太平洋版である「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄として4回目の選定を受けましたので、お知らせいたします。

DJSI は、S&P ダウ・ジョーンズ社（米国）とロベコ SAM 社（スイス）が作成する代表的な SRI 指標であり、企業の社会的責任に関心を持つ世界中の投資家にとって重要な投資選択基準の一つとなっております。DJSI Asia Pacific は、アジア・オセアニア地域の企業を対象とした指数で、今年度は同地域における主要企業約 600 社から、上位 150 社（うち日本企業 75 社）が選定されました。

DJSI への組み入れは、対象企業へのアンケートや公開情報（アニュアルレポート、ウェブサイト）などにより審査され、企業の経済・環境・社会面での持続可能性（sustainability）の評価により構成銘柄が毎年選定されます。当社は 2014 年度よりエントリーしており、過去 5 年間で 4 回選定されています。

中外製薬は、DJSI と並ぶ世界的な SRI 株価指数である「FTSE4Good Index」の構成銘柄としても 2003 年から継続して選定されるなど、環境・社会・ガバナンスの観点でその持続可能性が高く評価されています。また、当社は年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が選定した、FTSE Blossom Japan Index、MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数、MSCI 日本株女性活躍指数（WIN）の 3 つの ESG 指数のすべてに採用されています。

中外製薬は、「すべての革新は患者さんのために」という事業哲学のもと、革新的な医薬品とサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、世界の医療と人々の健康に貢献することで、生命関連企業として積極的に社会責任を果たしてまいります。

以上